



「なかよしランチ」からの昼休憩

9月17日(木)の昼食時に、今年度3回目となる「なかよしランチ」を実施しました。今回も全校縦割りの色団(赤団・白団)で集まり、前回(8月27日)とは場所を入れ替えて、白団がグラウンド、赤団が教室での会食となりました。以下に、いくつかの班の会食の様子を紹介します。また、その下の3枚の写真は、昼食後にそのままの縦割りグループで楽しく遊んでいる様子です。小学部1年生から中学部3年生までが学年を超えて一緒に交流できるのは、まさに「我がJSB」の素晴らしい伝統であり、強みであると感じています。



今日の授業風景(小学部4年生)



9月17日(木)の5時間目、小学部4年生の体育は「鉄棒」に挑戦しました。一人一人が自分の目標の「技」を決め、練習スタート!友達同士で声を掛け合って補助したり、補助具を使ったりしながら、何度もあきらめずに技を磨く姿が見られました。



マロニエ会(PTA)からのお知らせ

今年度も来年に向けた推薦委員会が発足します(2026年10月1日予定)!
皆さんには下記日程でご協力いただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

選出アンケート期間 : 2026年11月05日(木)~12日(木)

→執行部役員候補者を把握するためのアンケートです。

中3以外の全保護者の方が対象です!期間中のご回答をお願いします☆

役員候補者選出会 : 2027年1月11日(月)

役員選出会 : 2027年1月14日(木)

「進路を考える会」⑤物流会社

「進路を考える会」の第5弾には、物流会社の駐在員の方をゲストティーチャーにお迎えしました。



「物流」についてのお話では、運ぶ物の多様さに驚かされました。小さな書類から、風力発電の発電機、さらには新幹線の車両まで運ぶそうです。中でも一番驚いたのは、数億円もする高価な美術品の輸送には専門の方がいるというお話でした。私たちが「〇〇展」などの展覧会を美術鑑賞できる背景には、まさにこうした「縁の下の方」の存在があることを学びました。

講師の方の会社には、全社員約 200 名のうち、日本人の駐在員はわずか1名とのこと。そのため、現地ベルギー人スタッフに「丁寧な梱包」といった日本流のやり方を理解・納得してもらうことが「働く上での苦労」だそうです。一方で「仕事のやりがい」は、お客様に感謝され、自分の仕

事が役に立ったと実感する瞬間。いわゆる「自己有用感」が高まるのがやりがいに結び付くというお話は、生徒たちにとっても深く共感できるものでした。

講演の最後には、生徒たちへ「伝えたいこと」として幾つかのメッセージが送られました。「今学校で学んでいることは大人になっても必要なこと」「今の海外生活は将来必ず役に立つ」「どんな仕事も真面目に向き合えば面白い」といった言葉に、生徒たちの「頑張る気持ち」も大いに高まったようです。

身近でありながら、普段は改めて意識する機会の少ない「物流」というお仕事。今回のお話を通して、物流が現代社会を力強く支えていることを再認識できたことは、生徒たちにとって大きな財産となりました。

ご多用の中、貴重なお時間を割いてご講演いただいた講師の先生に、心より感謝申し上げます。



今日の授業風景（中学部3年生）

9月15日（火）の4時間目、中学部3年生の理科の授業を見てきました。この日は、以前に取り組んだ「中和」の実験について、化学式・モデル図を用いながらそのメカニズムを深く紐解いていきました。

酸性の塩酸（HCl）とアルカリ性の水酸化ナトリウム水溶液（NaOH）を混ぜ合わせると、中性の食塩水になります。この実験結果をもとに、水溶液の中で何が起こったのかを先生が解説していくのですが、その際の「例え話」が非常にユニークでした。液体が「中性」になるには、どちらかが多すぎても少なすぎてもいけません。まさに「絶妙なバランス」が必要なのですが、先生はこれを「人気ドラマ『VIVANT』における公安と別班の関係」、さらには「『ONE PIECE』の世界政府と海賊の関係」に例えたのです。これには生徒たちからも大きな笑い声が起きました。（実は一番盛り上がったのは、漫画『アオのハコ』の例えでしたが、世代の違う私には理解不能でした）。

今回の授業のように、一見すると学習内容とは関係のない「インパクトのあるエピソード」こそが、かえって記憶に深く残るということは大人の私たちにも経験があるのではないのでしょうか。私自身も、算数の「速さ・



時間・距離（はじき）」の関係、当時の強烈な思い出とともに今でも覚えています。もしかしたら生徒たちの中にも、今回の「中和」の仕組みを「別班」の絶妙なバランスとともに、ずっと覚えていく人がいるかもしれません。